

平成27年度事業報告

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による
県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

☆平成27年度重点事業

1. 看護職の労働環境改善への取り組みの強化
2. 看護の質向上のためのキャリア開発の推進
3. 地域包括ケアシステムの推進
4. 職能委員会及び各委員会の活動の充実と強化
5. 継続した公益目的事業の展開
6. 会員拡大に向けた取り組みの強化

※山形県よりの事業はすべて「山形県委託」と記載した。

※重点事業はゴシック体で、事業担当部署には下線を記載した。

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

事業内容	実施状況
1) 看護職の継続教育に関する事業【重・2】 (1) 継続教育の充実・強化 ① 平成27年度教育計画の実施・評価 ② 平成28年度教育計画の策定・広報 ③ 行政との連携による看護師等の資質向上	教育委員会・各委員会・教育研修課・事業課・訪問看護ステーション (①～③は同じ) a 教育計画に基づいた研修をスケジュール通り実施 追加研修 ・助産実践クリニカルラダーレベルⅢ-胎児心拍心電図と産科救急 研修(日本看護協会委託事業)庄内地区と山形地区で開催 ・医療事故調査制度説明会 ・認知症高齢者の誤嚥性肺炎予防と口腔ケア研修(県委託事業) ・平成27年度地区別高齢者ケア施設看護管理者交流会(日本 看護協会委託) 総数:77研修 総受講者数:6,756人 詳細は総会要綱(P.) b 研修評価を研修後アンケートにて実施 研修の参加状況、アンケートの結果は総会要綱(P.) c 研修実施録まとめを総会要綱に掲載 a オンデマンド「都道府県看護協会の継続教育プログラム開発」を受 講し、企画力の向上を図った。 b 都道府県看護協会教育担当者会議への出席 7月23日 2名 c 研修後アンケートで教育ニーズを把握し、企画に活かした d 教育研修課、教育委員会、各委員会の間で研修企画を調整 e 12月19日(土)教育計画に関する懇談会を開催 参加者46名 f 教育計画を印刷、3月中旬に会員へ発送 g 平成28年4月1日よりホームページに掲載 a 山形県委託研修の実施 ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」に位置づけ、行政 と連携し20コース開催、補助事業研修1コース開催
(2) 専門・認定看護師、認定看護管理者の活動支援 ① 継続教育における講師としての登用 ② 認定看護管理者を委員や演習支援者として起用 ③ 役割発揮のためのスキルアップ	教育研修課(①～④は同じ) a 県内の専門看護師 2名、認定看護師 7名、認定看護管理者 2名 a 認定看護管理者教育課程教育運営委員に 2名起用 ファースト・サードレベルの演習支援者として 10名起用 a 摂食・嚥下認定看護師に研修企画と講師を依頼
(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援 ① 研修の開催と参加者の情報交換の場づくり	教育研修課・看護職能委員会Ⅱ a 研修3コース開催 参加者総数 90人 b 介護・福祉・在宅領域で働く看護職への研修の開催情報を、行政や 県老人保健施設協会、県老人福祉施設協議会を通じて発信 c 看護師職能委員会Ⅱ企画の研修への参加呼びかけ bと同様
(4) 委員会企画の研修のスムーズな運営 ① 委員会・教育研修課・事業課との連携	各委員会・教育研修課・事業課 a 8委員会の研修 12コースを円滑に運営できた
(5) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実 ① 委員会、訪問看護ステーション、事務局連携による 研修企画と運営	看護職能Ⅱ・在宅ケア推進委員会・訪問看護ステーション ・教育研修課・事業課 a 訪問看護ステーション管理者研修 2コース開催 参加総数46人 b 介護施設での看取りの研修 1コース開催 参加者113人 c 介護施設での認知症ケア向上研修 1コース ・認知症高齢者の誤嚥性肺炎予防と口腔ケア研修に変更して開催 参加者97人

	<p>d 高齢者ケア施設の看護管理者研修 1コース ・日本看護協会委託事業に変更して開催 参加者76人</p> <p>e 介護職員等喀痰吸引指導者研修 1コース 参加者34人</p> <p>f eラーニング活用訪問看護師養成研修と公開講座 5コース ・養成研修受講者30人 公開講座参加総数144人</p>
(6) 支部と連携した研修	教育研修課
① 庄内地区での研修開催	a 2コース開催しスムーズに運営できた 参加総数193人
(7) 非会員への学習支援	教育研修課
① 平成27年度研修の公開(非会員の受講受け入れ)	a 県内全保健・医療・福祉施設への教育計画送付 175か所 b 県内診療所への教育計画送付 700か所 c 介護福祉系の会議での研修のPRと行政、関係団体を通じての発信 d ホームページへタイムリーに掲載しPRを実施
(8) 研修環境の整備・充実	教育研修課(①～②は同じ)
① 7日以上長期研修時の開館時間の延長	a 開館時間 8時30分～18時(1時間延長)を実施
② AV機器・パソコン等の定期点検と整備	a 長期研修前に定期点検を実施、研修の準備を整えた b 最新機器(パソコン)の導入を行った
③ 訪問看護会館研修室の整備と活用	訪問看護ステーション a 協会事務局と連携して、貸し出し時のチェックを実施
2) 施設内教育充実を支援する事業【重・2】	
(1) 医療機関院内教育充実への支援	教育研修課(①～③は同じ)
① 教育担当者・責任者研修の充実	a 新人教育担当者研修で「継続教育の基準」活用ガイドラインについて取り上げ普及に努めた b 助産師のクリニカルラダーⅢ認証に必要な事項として、ポートフォリオが活用された。看護師のクリニカルラダーでも推進する c 事業計画の説明時、県内看護部長会議等で「オンデマンド」研修活用の周知を図った
(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化	教育委員会・教育研修課(①～②は同じ)
① 新人研修の開催による支援	a 新人研修 4コース開催 参加総数845人
② 新人育成に携わる担当者研修	a 実地指導者研修 1コース開催 参加者178人 b 研修責任者・教育担当者研修 3コース開催 参加総数167人
3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・2】	
(1) 認定看護管理者教育の推進	専任教員・教育研修課(①～③が同じ)
① 専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価	a ファーストレベルの運営 6月3日～8月5日まで27日間 全科目受講者 80人・一部科目受講者 4人 84人全員修了 b サードレベルの運営 8月25日～11月5日まで33日間 受講者 22人 全員終了 c 演習の企画と認定看護管理者の活用による運営 ・ファーストレベルでは5名のCNAを演習支援者、5名のCNAを講師として活用 ・サードレベルでは6名のCNAを活用、4名のCNAを講師として活用 d 専任教員、研修担当者が連携し受講者の学習支援を実施 e 講師等との連絡調整と講義のサポート:専任教員、研修担当が実施 f アンケートによる研修企画と運営の評価を実施
② セカンド・サード修了者の実践報告の機会提供	a 10月17日(土)看護管理実践報告会を開催 ・セカンドレベル修了者15名、サードレベル修了者1名が報告 ・参加者120人
③ 平成28年度研修企画	a 専任教員、研修担当者がファースト・セカンドレベルのカリキュラムに合せてプログラムを構成した
④ 認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営	認定看護管理者教育課程教育運営委員会 a 委員会活動の基盤づくり b 受講者選考と受講者の修了審査 c 研修の企画・運営の支援 d 専任教員のサポート
⑤ 日本看護協会認定部との連携	教育研修課 a 教育担当者変更のスムーズな手続き b 積極的な情報収集と専任教員との連携
(2) 看護管理者のスキルアップを支援	専任教員・教育研修課(①～②は同じ)
① プログラムの一部を公開	a ファーストレベル教育課程の公開講座 1コース開催 参加者126人 b サードレベル教育課程の公開講座 1コース開催 参加者97人 c サードレベル教育課程で聴講受入 参加者146人
② セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催	a セカンド・サードレベル修了者に実践報告募集を実施 16題応募 b 看護管理者に参加呼びかけを実施 参加者120人(再掲)
4) 医療安全教育に関する事業	
(1) 医療安全管理者養成研修の開催	教育研修課(①～②は同じ)
① 医療安全管理者養成研修の実施・評価	a 研修の運営 9月10日 9月17日まで 7日間開催

	参加者48人 全員修了 b 担当者が受講者の学習支援を実施 c 12月12日(土)フォローアップ研修を開催 参加者44人 d 研修後アンケートで研修の評価を実施
②平成28年度研修企画	a 研修担当者が研修プログラム・開催要綱を作成
(2)医療安全管理者のスキルアップの支援	医療・看護安全対策委員会・教育研修課(①～②は同じ)
①医療安全管理者養成研修のプログラムの一部公開	a 公開講座 1コース開催 参加者149人
②チームで取り組む医療安全の推進	a 8月22日[度]チームで学ぶ「チームSTEPPS」研修の開催 ・チームでの参加募集を実施 参加者84人 ・多職種(医師、薬剤師、臨床工学士、事務職等)で学ぶ機会となった b 関係団体への参加呼びかけを実施
(3)医療安全推進活動	医療・看護安全対策委員会・教育研修課
①医療安全管理者養成研修修了者の活動支援	a フォーラムは委員会と教育研修課共働で実施 b チームで学ぶ「チームSTEPPS」研修の参加呼びかけを実施
②医療・看護安全対策委員会の活動の強化	医療・看護安全対策委員会 a10月10日(土)「患者と共に取り組む医療安全公開フォーラム」の運営 b 「チームSTEPPS」研修の運営・評価 c 事故防止・再発防止の啓発活動 d 11月28日(土)「医療安全やまがたフォーラム」への参加
③日本看護協会との連携	医療・看護安全対策委員会・教育研修課(③～④は同じ)
④関連団体との連携促進	a 9月17日(木)医療安全推進会議への出席 2名 a 「医療安全やまがたフォーラム」の企画・運営への参画 参加総数 149人 b 「医療安全やまがたフォーラム」実行委員会へ出席(3回)
5)図書室運営に関する事業	
(1)図書・文献サービスの充実	教育研修課(①～②は同じ)
①図書室の充実	a 図書・DVDの購入、広報、貸出しを実施 b 平成28年1月25日～29日 蔵書点検を実施(総会要綱P.) ・不明図書・古書の整理・処理を実施
②文献検索機能の向上	a 長期研修においてパソコンによる文献検索を活用、普及を図った ・文献検索法の講義と活用方法の演習を実施 b 長期研修前・蔵書点検時に蔵書原簿の更新を実施

2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業

事業内容	実施状況
1)山形県看護研究学会に関する事業【重・2】	
(1)山形県看護研究学会の開催	学会委員会、教育研修課
①学会委員会を主体とした学会の企画と運営	a 11月12日(木)日本精神科看護協会山形支部との共催で開催 発表演題数 19題 参加者308人 b 学会委員会による実行委員会の開催(4回) c 抄録選考を実施
(2)看護研究の推進	学会委員会、教育研修課(①～③は同じ)
①学会委員のスキルアップ	a 学会運営を通してスキルアップを行った
②看護研究支援の研修開催	a 質問紙調査の研修 1コース開催 参加者41人 b 看護研究基礎編研修 2コース開催 参加総数173人
③日本看護協会との情報収集	a 11月20日 日本看護学会運営会議に出席 1名

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

事業内容	実施状況
1)看護業務に関する事業	
(1)職能委員会活動の活性化	職能理事(職能委員長)
①日本看護協会職能委員会との連携	a 6月9・10・11日 日本看護協会通常総会(神戸) 4委員長が参加 b 8月3日(月)3月11日(金)全国職能委員長会議 4委員長出席 c 10月16日(金)地区別職能委員長会(青森) 4委員長出席 d 調査には速やかに回答 e 日本看護協会職能委員会の事業の推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取り組みを実施
②保健師職能委員会活動	保健師職能委員会 a 保健師の力量形成のための現任教育の充実 ・県の人材育成検討会に参加(今年度は準備期間、来年度に向けての資料収集を実施) b 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割発揮の推進

③助産師職能委員会活動

- ・地域包括ケアの実践事例など紹介
 - c 保健師活動指針普及について行政との業務推進懇談会で発言
 - d 6月19日(金)通常総会後の職能研修の開催 参加者50人
11月28日(土)保健指導ミーティングの開催 参加者44人
 - e 保健師の連携・ネットワークの構築について研修会で討議
 - f 7月4日「山形県の地域包括ケアシステムの構築の勉強会」において各委員会の連携を図った。10月1日には「地域医療構想」勉強会を開催、支部ごと職能・委員会を超えた意見交換を実施
 - g 職能委員会の新情報をメールで発信と同時に加入啓発を図った
- 助産師職能委員会
- a 6月19日(金)通常総会後の職能研修の開催 参加者66人
 - b 助産師の実践能力向上のための研修開催
 - ・10月31日(土) 研修会開催 参加者39人
 - ・追加研修(日本看護協会委託事業)を山形と庄内での開催
テーマ「胎児心拍心電図と参加救急」 参加総数62人
 - c 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証制度の周知に力を入れ、ポータルフォーリオ活用の普及やオンデマンド研修の活用推進を図った
 - ・県内で91名のアドバンス助産師が誕生につながった
 - d 助産師出向支援導入事業は事務局と連携して推進(山形県委託)
 - ・1事例実施 2名の助産師が6か月ずつ出向
 - e 7月4日「山形県の地域包括ケアシステムの構築の勉強会」において各委員会の連携を図った。10月1日には「地域医療構想」勉強会を開催、支部ごと職能・委員会を超えた意見交換を実施
 - f 広報紙「山形いぶき」や研修会時に情報発信と会員拡大の呼びかけを実施

④看護師職能委員会 I 活動

- 看護師職能委員会 I
- a 6月19日(金)通常総会後の職能研修(看護師職能Ⅱと合同)を開催 参加者261人
 - b 臨床と在宅をつなぐ看護の推進
 - ・9月26日(土)「病院看護師だからできる在宅療養支援」開催 参加者140人
 - c 職場の勤務環境改善の推進
 - ・ワークショップ時に「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」の配布と活用の声かけを実施
 - d 委員長が「看護職のWLB推進会議」のメンバーとしてワークショップの運営に参加
 - e 研修時にクリニカルラダー導入に向けた情報発信を実施
 - f 7月4日「山形県の地域包括ケアシステムの構築の勉強会」において各委員会の連携を図った。10月1日には「地域医療構想」勉強会を開催、支部ごと職能・委員会を超えた意見交換を実施
 - g 広報紙「山形いぶき」や研修会時に情報発信と会員拡大の呼びかけを実施

⑤看護師職能委員会 II 活動

- 看護師職能委員会 II
- a 6月19日(金)通常総会後の職能研修(看護師職能Ⅰと合同)を開催 参加者261人
 - b 介護・福祉・在宅領域の看護職が実践できる研修の開催
 - ・8月29日(土)「介護施設における看取りの実際を学ぶ」 参加者113名
 - c 1月31日(土)地区別高齢者ケア施設の看護管理者交流会(日本看護協会委託事業)を開催 参加者76人
 - 介護・福祉系団体の協力が得られ、施設間の情報交換もできた
 - d 7月4日「山形県の地域包括ケアシステムの構築の勉強会」において各委員会の連携を図った。10月1日には「地域医療構想」勉強会を開催、支部ごと職能・委員会を超えた意見交換を実施
 - e 広報紙「山形いぶき」や研修会時に情報発信と会員拡大の呼びかけを実施

⑥三職能4委員会に関する情報の発信

- 三職能4委員会
- a 職能に関する情報収集と情報発信
 - ・広報誌への「職能だより」の掲載を2回実施
 - b 健康福祉部長との懇談会において職能の抱える課題提起を実施
 - c 職能委員長間での情報交換を実施

2)看護制度に関する事業

(1)准看護師への進学支援及び学習支援【重・2】

教育研修課、事業課・ナースセンター(①～③は同じ)

①奨学金制度の活用	a 広報誌やホームページ等で情報を発信 b 山形県看護協会の奨学金に8名の応募があり、審査の結果2名に給付 c 日本看護協会の奨学金の活用について周知を図った
②准看護師への学習支援	a 6月20日(土)「准看護師から看護師への道」の研修開催:参加者7人 b 小規模施設で働く看護職や介護・福祉系施設で働く看護職を対象とした研修を3コース開催 参加総数90人
③准看護師からの進学相談対応	a 随時対応:奨学金の問い合わせが多かった
(2)看護職を目指す中・高校生、社会人への対応	「看護の心」普及推進委員会、教育研修課、事業課、ナースセンター
①看護師への道をPRする対応	a イベント時のパネル展示 b イベント時の進学相談 ・6月16日(土)健康まつり 10人 c ハローワークにおける進学相談 6名 d 中学校・高等学校での出前講座 4校 e ナースセンターにおける進路相談 5名 ・8月8日(土)フレッシュ説明会 9名
(3)日本看護協会との連携	全区理事、常任理事(①～③は同じ)
①全国准看護師問題担当役員会議への出席 7月	a 制度改革に伴う情報収集と理事会及び准看護師への情報発信
②日本看護協会通常総会への出席 6月9・10日代議員で出席	a 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師への情報発信
(4)看護職の教育制度見直しに関する情報発信	会長、常任理事
①日本看護協会との連携	a 日本看護協会からの情報を受け、会員へ情報発信 b 必要時、行政へ提言 ・厚生環境常任委員会へ制度についての説明
(5)特定行為の研修制度	会長、常任理事
①日本看護協会との連携	a 支部研修での会長講話で取り上げた b 広報誌「山形いぶき」等での広報 c 県内看護部長会議での情報発信 7月9日(木) d 説明会への教育研修課職員の出席 10月24日(土)

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容	実施状況
1)看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・1】	
(1)看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進	事業課、ナースセンター(①～②は同じ)
①平成26年度看護職就業状況及び勤務環境調査	a 6月に調査を実施 (回収率100%) ・離職率:看護職員6.8% 新人4.5% b 調査結果を健康福祉部との懇談会で公表 平成27年9月4日(金) c データの活用 ・看護師確保に関する諸会議で公表、課題提起 d 平成28年度通常総会要綱に掲載し会員へ周知
②潜在看護師等復職研修	a 研修のPR(案内文の送付・ハローワークでPRと掲示) ・ブランク期間が長い方に対するサポート(DVDの活用等) b 受入れ施設の確保・拡大(受入れ病院登録34施設:3施設増) c ナースセンター登録者、ハローワーク相談者への情報提供と研修受講の働きかけ d 研修運営の評価 ・受講者数:17人 うち年度末まで8人が就業(就業率47.1%)
③看護職のWLB推進ワークショップの開催(3年目)	看護職のWLB推進委員会、看護師職能委員会 I、事業課、ナースセンター(③～④は同じ)
	a 山形県看護職のWLB推進会議の開催 4回 ・ワークショップの企画・運営・評価 ・ワークショップの広報 ・ワークショップの公開 b 第1回ワークショップの開催 9月24・25日(木・金) 参加施設の参加者:75人 一般参加者:19人 c 参加施設への支援 ・支援者の施設訪問や電話による進捗状況の確認 d フォローアップ・ワークショップの開催 平成28年2月5日(金) 参加施設の参加者:75人 一般参加者:21人参加者 e 日本看護協会との連携:進捗管理、講師派遣依頼 f 行政・労働局との連携:社会保険労務士の派遣依頼 g 3年間の実施評価 ・フォローアップワークショップでの取り組みや成果の報告 ・6施設の院長のメッセージを広報紙で特集、表彰状の授与

④働き続けられる職場づくりの推進

- a 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進
 - ・ワークショップで参加者に配布、活用した
 - b 看護職のWLB推進ワークショップの開催
 - c 短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進
 - ・2交代、ミックス交代、夜勤専従等の導入
 - d 医療機関の勤務環境の改善の推進
 - ・行政や労働局との連携で推進
 - e 介護・福祉・在宅領域の勤務環境の改善の推進
 - ・介護・福祉系の会議で情報発信、ワークショップのPR
 - f 県内病院離職者実態調査の実施と結果の活用(4月実施)
 - ・回収率56.3%
 - ・結果を関係会議で公表・活用
 - ・平成28年度通常総会要綱に掲載し、会員に周知
- 事業課、ナースセンター(⑤～⑦に同じ)

⑤看護師等職場説明会開催(看護学生最終年対象)

- a 4月4日(土) 山形テルサで開催
 - ・参加者数164人 36施設(47病院)
- b マスメディアを活用しての広報活動
- c 訪問看護の紹介コーナーの設置とPR

⑥フレッシュ説明会開催(看護学生1・2年対象)

- a 8月8日(土) 山形テルサで開催
 - ・参加者:県内看護学生115人、県外看護学生7名
 - ・中高校生一般9名、保護者7名、県内病院40施設(52病院)
- b マスメディアを活用しての広報活動
- c 訪問看護の紹介コーナーの設置:参加人数18人
- d 進路相談コーナーの設置:参加人数9人 保護者7人

⑦再就業サポートガイダンスの開催

- a 離職者の届出制の説明・周知<潜在化防止>
- b 平成28年2月13日(土)ナースカフェとして開催:参加者23人
- c ナースセンターの活用をPR(利用促進)

⑧「やまがた受動喫煙防止対策宣言」の推進

- a 7月28日(火)理事会で当協会の宣言を決定
- b 広報紙「山形いぶき」8月号で会員へ周知
- c 会館内に当協会の宣言を掲示して周知・喚起

⑨介護事業所で働いている看護職の実態調査

- a 10月に県内456事業所の看護職の代表に対してアンケート調査
 - b 調査結果を平成28年度通常総会要綱へ掲載し、会員へ周知
- 看護師職能委員会Ⅰ、教育研修課、事業課、ナースセンター

⑩日本看護協会、関係団体、行政との連携強化

- a 都道府県労働問題担当者会議への出席:5月13日(木) 2名
 - b 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への取り組みが平成29年まで延長となり、目標値の見直しがされた
 - c 日本看護協会オンデマンド配信研修活用の働きかけ
 - d 日本看護協会の労働と看護の質向上のためのデータベース事業
 - ・DiNQLの活用の働きかけ:平成28年度は4施設⇒5施設
 - e 健康福祉部との懇談会で課題提起、調査結果の公表
 - f 県議会:厚生環境常任委員会への看護師確保に関する情報提供
- 事業課、ナースセンター(①～②は同じ)

(2)ナースセンター事業の推進

①ナースセンター事業の拡充

- a ナースセンター移設に伴う相談事業の充実
 - ・4月1日に移設:相談件数 8,567件
- b 離職者のナースセンター届出制の周知と円滑な稼働
 - ・周知のための訪問:病院 66病院
訪問看護ステーション 11事業所
福祉施設 11施設
 - ・看護部長会議での周知
 - ・平成28年3月31日の届出数:182件
- c 新NCCSシステムの周知と普及活動 4月1日より稼働開始
 - ・周知活動は平成26年度より実施していたが、変更が大きく、職員だけでなく求人側、求職側も十分に扱えていない
- d 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成
 - ・平成27年度の目標値はほぼクリア
 - ・新NCCSシステムになったことで目標値が見直された

②看護職員就業支援事業

- a 事業の成果の可視化
 - ・報告書の作成と活用

<p>③看護業務啓発促進事業</p> <p>④潜在看護師掘り起こし事業</p> <p>⑤ナースセンター利用促進事業</p> <p>⑥ナースセンター事業推進の取組み</p> <p>⑦ナースセンターの運営に関すること</p> <p>⑧行政、関係機関との連携強化</p>	<p>b 相談件数、再就業率のアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は増加 ・就業者数238人:再就業者数のカウント方法が変更になった <p>c 離職者の実態調査とナースセンター登録の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者の集まりで協力を依頼 <p>「看護の心」普及推進委員会、性の健康教育を推進する委員会 4支部、訪問看護ステーション、事務局</p> <p>a 「ふれあい看護体験」の実施(5月10日～6月12日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加施設 80施設 参加高校生 50校449人 <p>b イベント時「看護師への道」進路相談の開催</p> <p>c 「看護の出前講座」の実施(通年で実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31校 50件を実施 参加学生等 5,109人 <p>d 「健康まつり」「夏まつり」のイベントの開催</p> <p>県、県栄養士会、日精看山形支部、県理学療法士会、事務局の共催で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月16日(土)「健康まつり」開催 参加者380人 ・8月14日(金)「夏まつり」開催 参加者100人 <p>事業課、ナースセンター(④～⑧は同じ)</p> <p>a マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信</p> <p>b ナースセンター登録者への情報発信と復職相談への対応</p> <p>c ナースセンター登録者の交流の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復職支援セミナーやナースカフェを開催 <p>a 県内8カ所のハローワークでの看護の仕事相談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:188件 <p>b ハローワークプラザやまがた「ママジョブサポート」での就業相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月より実施:相談者37人 <p>c ナースセンター事業の広報活動と参加呼びかけ</p> <p>a 県内病院訪問によるナースセンター事業のPRと協力依頼</p> <p>b 退職者のナースセンター登録の推進</p> <p>c ナースセンター活用の声掛け(求人登録)</p> <p>a 10月26日(月)ナースセンター運営会議の開催</p> <p>b 事業報告書の作成</p> <p>c ナースセンターだよりの発行 3回</p> <p>a 山形県健康福祉部地域医療対策課との連携</p> <p>「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成</p> <p>b 山形労働局との協力体制の構築</p> <p>「ハローワークでの相談会」の利用者拡大</p> <p>「医療勤務環境改善センター」事業への協力</p> <p>「医療労務管理相談コーナー」活用の周知</p> <p>「看護職のWLB推進ワークショップ」への協力依頼</p> <p>「WECやまがた」への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年1月18日より、ハローワーク山形との連携事業実施
<p>(3)看護職の健康増進</p> <p>①看護職のメンタルサポート</p>	<p>ナースセンター</p> <p>a 相談窓口の周知・広報</p> <p>b 実績:26人に116回の面談を実施</p> <p>c 相談員のスキルアップ:研修内容の共有と情報交換</p>
<p>(4)「看護職賠償責任保険制度」の普及</p> <p>①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知</p>	<p>総務課</p> <p>a 問い合わせや来館者にパンフレット・振込用紙配布</p>
<p>2)県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・5】</p> <p>(1)県民の健康づくり支援</p> <p>①県民への相談事業「まちの保健室」の開催</p>	<p>「まちの保健室」委員会、支部、事業課、協会訪問看護ステーション</p> <p>a 「まちの保健室」推進委員会活動の定着</p> <p>b 支部常任委員会「まちの保健室」運営委員会活動の定着</p> <p>c 「まちの保健室」開催要綱、運営マニュアルの見直し</p> <p>d ボランティア活動要綱の作成</p> <p>e ボランティア育成研修の開催 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月29日:受講者29人 ・7月17日:受講者19人 <p>f 当協会と支部が連携した「まちの保健室」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設型「まちの保健室」を山形支部で開催

	<p>g イベント時の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェリアフェスティバル ・健康フェア <p>h 酒田市飛島での開催(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月25・26日実施 10月は悪天候のため中止 <p>i 「まちの保健室」連絡協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月16日(火) 16名出席 ・関連団体との共催 <p>事務局・支部・協会訪問看護ステーション</p>
②看護に関するイベント事業	<p>a 「看護の日」健康まつり (再掲)</p> <p>b 「夏まつり」 (再掲)</p> <p>医療・看護安全対策委員会・事業課</p>
③医療安全フォーラム	<p>a 「患者と共に取り組む医療安全」公開フォーラムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月22日(土) 参加者:186人 <p>b 「医療安全やまがたフォーラム」開催への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月28日(土) 参加者:149人 <p>事業課</p>
④次世代育成支援事業	<p>a やまがたママの安心ナビゲーションメール相談事業(山形県委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30件に対応 <p>性の健康を支援する委員会・事業課</p> <p>b 性の健康教育(いのちの教育)講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29校(48件) 受講者:4,995人 <p>c 性の健康教育実践者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月5日(土)研修会の開催 参加者:49人 ・性の健康教育実施の手引きの検討 <p>会長・常任理事</p>
⑤電話相談事業	<p>a 健康相談</p> <p>b 自殺対策</p> <p>c 青少年関係</p> <p>禁煙推進委員・支部</p>
⑥県民の禁煙推進活動	<p>a 山形県四師会と共催し禁煙活動事業の開催(主担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月28日(日)「子育て応援団2015すこやか」に参加 <p>b 看護学生等への禁煙教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四師会として専門学校5校へ出前講座 <p>c 山形県受動喫煙防止推進活動へ参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月28日(火)山形県看護協会受動喫煙防止宣言を決定 <p>d 関係機関との連携:四師会・受動喫煙防止推進会議等</p>
(2)災害支援体制の整備	<p>災害看護対策委員会・事業課(①～⑤は同じ)</p>
①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知	<p>a 災害支援活動要綱の作成、ホームページでの周知</p> <p>b 災害支援体制についてホームページで周知</p> <p>c 災害支援物資の備蓄と管理:5月と10月に確認と補充</p> <p>d 支援体制について他の医療団体との情報交換</p>
②災害支援ナース育成の強化	<p>a 災害看護対策委員のスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県合同訓練や災害看護研修時のファシリテーター <p>b 支援ナースのスキルアップ研修の開催(山形県委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月20・21日:参加者33人 11月4日:参加者13人 <p>c 合同訓練の周知で支援ナース連絡体制の模擬訓練を実施</p> <p>d 山形県合同防災訓練への参加呼びかけ 参加者 7人</p>
③看護職の災害看護の意識高揚	<p>a 災害看護の基礎知識の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛星通信基礎編:7月19・20日開催 参加者42人 ・トリアージの研修(2回開催):8月19日 参加者69人 8月20日 参加者23人 <p>b 支援ナース登録者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・174の施設長へ呼びかけ 新規登録20人 総数51人
④県民に対する防災意識の啓発	<p>a 「健康まつり」でのパネル展示を実施</p>
⑤災害看護支援体制のネットワークづくり	<p>a 日本看護協会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月24日(水)災害看護対策担当者会議 2名出席 ・11月10～12日合同訓練へ参加 支援ナース10名派遣訓練 <p>b 県内医療関係団体連携による支援活動の打合せ会に出席</p> <p>c 行政との連携</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・関連会議・研修会への出席 ・9月6日(日)山形県・上山市合同総合防災訓練へ参加 委員5名 支援ナース7名 事務局3名 総数15名 ・山形市防災訓練への参加 6月28日(日)事務局1名参加 8月29日(土)山形支部長が参加 ・10月4日(日)米沢市防災訓練へ会長が参加
(3) 東日本大震災支援活動	事務局(①～⑥は同じ)
①被災看護職への支援	a 研修受講の受け入れ
	b 避難地域の就業支援
	c 県内避難の看護職の入会負担金免除
②義援金の募集継続	a 協会受付に募金箱を常設
	b 各種イベント時に義援金への協力呼びかけ
③県内避難者の子育て支援	a 県内避難者の子育てに関するメール相談の受入(県委託事業) ・避難者からのメール相談 0件
④県内避難者の心のケア事業 (福島県委託事業)	a 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市での「まちの保健室」の開催(月1回) 延べ参加者総数569人 支援者総数115人
	b 福島県双葉町民の仮設住宅での「まちの保健室」の開催 ・10月25日(土)被災住民の参加者28人 参加者9名
	c 支援者の拡大とスキルアップ ・支援者研修3回開催
⑤県内避難者支援ネットワーク関連	a 県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加
	b 避難者支援相談員連絡協議会への出席
	c 行政、関係団体との連携
	a 災害関連会議への出席し情報収集 ・7月22日最上庄内地域意見交換会で活動報告 ・7月27日村山地区意見交換会に出席
	b 避難者支援相談員連絡協議会へ出席 3回
	c 行政、関係団体との連携:山形県・福島県・社会福祉協議会等
⑥日本看護協会・被災県看護協会との連携	a 災害関連会議への出席し情報収集 ・3月5日(日)福島県復興フォーラムに出席 1名 ・3月12日、13日宮城県震災フォーラムに参加 11名
⑦5年間の東日本大震災支援活動のまとめ	a プロジェクト会議を設置して取組む 会議:8回開催

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

事業内容	実施状況
1) 協会訪問看護ステーション・居宅介護支援事業【重・4】	
(1) 協会訪問看護ステーション事業の健全経営	協会訪問看護ステーション、総括室、管理運営会議
① 協会訪問看護ステーションの経営基盤の強化	a 協会訪問看護ステーション運営会議の定期開催(月1回)
	b 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営 ・コンサルテーションの受審と報告会の開催 平成28年度からの移動合計評価の導入 ・まいづる 看護体制強化加算取得 ・地域住民への積極的な訪問看護実践のPR
	c 円滑な運営のための管理者のマネジメント力の向上 ・訪問看護ステーション管理者研修を所長と主任の全員受講 ・ファーストレベル:副所長1名受講 ・所長会議での経営に関する実績評価・分析を実施
	d 公益事業の強化と地域密着事業の展開 ・医療連携室の看護師との話し合い ・ケア会議や事例検討会への参加 ・緩和ケア研究会に参加 看取りの勉強会1回 ・「訪問看護相談窓口」の設置(山形県委託) 電話相談76件 面談10件 メール4件 年間90件
	e 機能強化型 I 訪問看護ステーションとしての役割発揮 ・医療ニーズの高い利用者の受け入れ ・在宅見取りの普及、ICTの積極的な活用
	f 計画的な人材育成の仕組みづくり ・ファーストレベル、実習指導者、医療安全等の研修受講
	g 理事会への事業運営の報告
② 4つの協会訪問看護ステーションの運営の組織づくり	協会訪問看護ステーション、総括室(②～③は同じ)

<p>③業務の効率化と看護の質向上の推進</p>	<p>a 所長会議の開催(月1回) b 委員会を再編し活動を活性化 ・安全対策、看護記録、リハビリ、実習指導 c 諸規程や行動規範の周知徹底:個人情報保護・ハラスメント対策 d 各ステーションごと目標管理に取り組む e 職場の雰囲気づくり:意識調査の実施とコミュニケーション研修開催 f 平成28年度実施に向けた人事交流の検討 a 技術研修と資質向上のための研修会を企画実施 b 所長会議で新採用者の育成プログラムを作成 c 安全管理の強化:委員会でヒヤリハットの分析等を実施 d 11月に利用者の満足度調査を実施、改善点を検討</p>
<p>(2)協会居宅介護支援事業の充実(3か所) ①安定した事業経営、基盤の強化</p> <p>②質の高いケアマネジメントの提供</p> <p>③関係機関、関係職種との連携強化</p>	<p>協会居宅支援事業所、総括室(①～③は同じ) a 居宅介護支援事業所連絡会議を3回開催:情報交換・事例検討 b 経営的視点に立った居宅介護支援事業所の運営 ・特定事業所Ⅲを6月に取得活動を展開 ・管理運担当会議における毎月の活動分析を実施 ・包括の会議等でPR活動を実施 c 市の認定調査委託契約の継続:認定審査181件 a 積極的なスキルアップ:看護ネットや勉強会に積極的に参加 b 連絡会議での複雑 問題の多い事例検討を実施 c 介護支援専門員会議や他会議出席時情報交換 a 地域ケア会議等積極的に参加 b 山形県介護専門員協会との連携:理事として活動</p>
<p>(3)県内の訪問看護の拠点としての「訪問看護会館」の積極的な活用 ① 山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>②「訪問看護会館」の貸し出しによる地域貢献の拡大</p>	<p>管理運営会議、総括室、協会訪問看護ステーション(①～②は同じ) a 山形県訪問看護ステーション連絡協議会事務局の設置 b 協議会の事務局業務のサポート:6月より c パンフレット活用による県民への訪問看護のPRを実施 a 「訪問看護会館」貸し出し手順と窓口の明確化 b 「訪問看護会館」使用マニュアルの整備 c 「訪問看護会館」の積極的な活用による県内の訪問看護師の資質向上やネットワーク構築の機会の拡大</p>
<p>2)在宅ケアに関する事業【重・4】 (1)在宅ケアの充実 ①在宅ケア推進活動</p>	<p>在宅ケア推進委員会、保健師職能委員会、看護師職能委員会Ⅰ、看護師職能委員会Ⅱ、4支部、事業課 a 常任委員会「在宅ケア推進委員会」の設置 ・病院連携窓口調査、訪問看護ステーション情報調査の実施 ・県医師会ブロックごとに訪問看護STのポスター作成 ・訪問看護ステーション情報誌の作成 ・ポスターと情報誌の配布 b 地域包括ケアシステム構築推進の取り組み ・7月4日(土)合同委員会時勉強会を開催 ・10月1日(木)地域医療構想に関する勉強会を開催 ・地域医療構想検討部会へ支部長が出席し、積極的に発言 c 上記勉強会を通じて保健師、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱ、在宅ケア推進委員会、支部役員の連携をはかった ・地域包括ケア会議における看護職の役割発揮 ・地域と施設の看護職のネットワーク構築の検討 d 地区の推進会議への支部長の出席 ・地域単位での多職種連携の検討 e 山形県在宅医療推進協議会への出席</p>
<p>(2)訪問看護サービスの普及と質の向上 ①訪問看護の普及活動</p> <p>②訪問看護サービスの質の向上</p>	<p>協会訪問看護ステーション、総括室 a パンフレットを活用した訪問看護のPRを実施 ・研修会や会議等でパンフレットを配布 b 看護学生に向けたPR活動 ・職場・フレッシュ説明会ではDVD 写真展示をした ・パンフレットによる説明を実施 c 介護支援専門員や病院看護師へPRを実施 d 地域包括ケア会議や介護認定審査関係の会議に参加 e 山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携 ・研修会やブロック会議を共催で実施 訪問看護ステーション、事業課 a eラーニングを活用した訪問看護師養成研修の開催(県委託) ・6月24日～11月18日 受講者:30人 在宅ケア推進委員会、看護師職能委員会Ⅱ、訪問看護ステーション、総括室、教育研修課 b 研修会の開催 ・訪問看護ステーション管理者研修 2回 受講者総数:46人 c 5月23日「介護報酬改定研修会」開催 参加者71人</p>

<p>③山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携強化</p>	<p>d 訪問看護師への教育計画の周知と研修受講の推進 e 蔵王会在宅医療・看護教育センター事業関連会議への出席 f 訪問看護サミットへの参加 参加者6人 g 行政との連携:最上・置賜地区の訪問看護検討会へ出席 訪問看護ステーション、総括室、事務局 a 訪問会館に事務局の設置とサポート b 総会・研修開催、ホームページ開設を支援 c 県内4地区でのブロック内ネットワークの構築支援(ブロック会議) ・ブロック会議を開催:看護職連携について検討</p>
<p>④訪問看護提供体制に関する事業 (山形県委託)</p>	<p>協会訪問看護ステーション、総括室、事務局 a 在宅医療推進関係:5つの事業展開、情報誌ポスターの作成 b 訪問看護に理解促進のため5つの事業を展開 PRを実施 c 最上地域 置賜地域の訪問看護関係の会議に出席 d 訪問看護相談の実施</p>

6. 施設の貸与に関する事業

事業内容	実施状況
<p>1)施設運営に関する事業 (1)施設の賃貸運営 ①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出 ②駐車場の貸出 ③「訪問看護会館」の貸出</p>	<p>総務課(①～②は同じ) a 事務所としての賃貸契約先 ・日本精神科看護協会山形県支部 b 研修室の外部貸出:14事業所 20回貸出 c 自動販売機設置2・3階 a 看護協会駐車場の貸出:11事業所 230台 訪問看護ステーションやまがた、総括室、総務課 a 研修室、会議室の積極的な貸出 ・使用定員に応じて訪問看護会館を紹介 b 貸出手順の作成:事務局間の連携</p>

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容	実施状況
<p>1)組織に関する事業【重・7】 (1)協会組織の強化 ①公益社団法人の円滑な運営 ②協会事業組織の検討 ③会員拡大対策の強化 ④支部活動の活性化</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局(①～③は同じ) a 新定款の遵守 a 委員会の見直し ・常任委員会「在宅ケア推進委員会」の設置 ・常任委員会「会員拡大対策委員会」の設置 ・認定看護管理者教育課程教育運営委員会の一本化 c 各種パンフレットの見直し・作成と活用 ・「協会案内」2000部作成、「入会案内」1000部作成 d 事務局の役割強化 <u>会員拡大推進委員会、理事会・管理運営会議・事務局</u> a 会員拡大推進委員会の活動基盤づくり ・委員会を6回開催(アンケート調査を10月に実施) b 協会事業のPRによる会員拡大:研修や会議で声かけを実施 c 各職能委員会の活動として会員拡大の呼びかけを実施 d ナースセンターの施設訪問時に会員拡大の声かけを実施 <u>理事会・管理運営会議・事務局</u> a 支部長会議の開催 ・合同委員会時に開催し情報交換:2回 b 支部長の地域内会議への出席 c 支部「教育委員会」の企画による研修会の開催 d 支部「まちの保健室」運営委員会による「まちの保健室」の開催 ・常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携 ・開催要項、運営マニュアルの活用と見直し ・ボランティアを育成、平成28年度より活用 研修会を3回開催 参加総数 62人 ・常設化に向けた検討:山形支部で実施 e 日本看護協会通常総会への一般参加者派遣:14名派遣</p>
<p>(2)会員意識の高揚と会員拡大 ①会員拡大への働きかけ ②看護学生への働きかけ</p>	<p><u>事務局(①～③は同じ)</u> a 施設未加入者への働きかけ(パンフレット配布及び送付) ・研修時、施設訪問時の働きかけを実施 b 協会案内・バッジ・教育計画等の送付(新・再加入者) c ホームページでの広報:会員数と入会案内掲載 a 看護教育機関への働きかけ(パンフレット配布及び送付等) b 職能団体活動の講話等(5校で実施) c 入学式への出席・祝電:8校 祝辞:2校</p>

<p>③会員登録管理システム (JNAS)の運用</p>	<p>d 戴帽式への出席・祝電:5校 祝辞:1校 e 卒業式等への出席・祝電:8校 祝辞:6校 a 日本看護協会との契約締結・維持 b 日本看護協会作成の会員証送付 c 会員登録システム変更の周知 ・広報紙「山形いぶき」やホームページでの周知 ・平成28年3月14日:看護管理者・会員へ説明会を開催 参加者75人</p>
<p>2)組織の運営に関する事業 (1)組織運営の円滑化 ①総会開催 ②役員等の推薦</p> <hr/> <p>(2)組織運営に関する会議 ①総会 ②理事会 ③職能・常任・特別・認定看護管理者教育課程教育運営委員会 ・推薦委員会及び支部長会との合同委員会 ④職能・常任・特別・認定看護管理者教育運営委員会</p> <hr/> <p>(3)日本看護協会との連携 ①日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会 ②日本看護協会理事会 ③法人会員会 ④都道府県看護協会職能委員長会 ⑤地区別法人会及び職能委員長会 ⑥都道府県看護協会労働問題担当者会議 (WLB地域推進連絡協議会) ⑦日本看護学会運営会議 ⑧都道府県看護協会事務担当者会議 ⑨都道府県看護協会広報担当役員会議 ⑩都道府県ナースセンター担当者会議 ⑪都道府県看護協会会員情報管理担当者会議 ⑫都道府県看護協会訪問看護担当者会議 ⑬都道府県看護協会教育担当者会議 ⑭医療安全推進会議 ⑮都道府県看護協会災害看護担当者会議 ⑯都道府県看護協会准看護師制度担当役員会議 ⑰新「会員情報管理体制」都道府県看護協会担当者説明会 ⑱都道府県看護協会政策担当者会議 ⑲その他 ・看護サミット・交流会(東京) ・訪問看護サミット2016(東京) ・第11回ICM(国際助産師連盟) アジア太平洋地域会議・助産師学術集会(横浜) ・北海道・東北地区看護協会長連絡協議会 ・都道府県ナースセンター就業相談員研修(東京) ・助産師出向コーディネーター研修(宮城)</p> <hr/> <p>(4)他団体との連携</p>	<p>理事会・管理運営会議・選挙管理委員会・事務局 a 6月19日(金)総会運営規則に則って総会を開催 b 総会要綱作成:1,600部 c 選挙規則に則って役員改選を実施 推薦委員会 a 改選役員等候補者の推薦を実施 ・会議を5回開催</p> <hr/> <p>理事会・管理運営会議・事務局(①～④は同じ) a 平成27年6月19日(金)開催 出席者 357名 a 理事会 例年通り10回開催 a 第1回:7月4日、第2回平成28年1月23日開催 ・活動計画と実施評価の徹底 ・活動状況の共有 a 諮問審議事項の提示と委員会活動の活性化 管理運営会議・事務局(①～⑦は同じ) a 年1回(6月9・10・11日) 代議員8名出席 <兵庫県> b 各支部より一般参加への支援:14名 a 6回開催 会長が地区理事として出席 a 5回開催 会長が出席 a 2回開催 4職能委員長が出席 a 10月15・16日 青森県看護協会担当で開催 ・会長、常任理事1名、職能委員長4名が出席 a 5月13日 常任理事1名、ナースセンター課長が出席 a 11月20日 常任理事1名が出席 開催なし a 平成28年1月25日 常任理事1名が出席 a 8月10日 ナースセンター課長、ナースセンター担当者1名が出席 a 7月6日、事務局担当者が出席 開催なし a 7月23日 常任理事1名、教育研修課長が主席 a 9月17日 常任理事1名、医療・看護安全対策副委員長が出席 a 7月24日 災害看護対策委員長、事務局担当者が出席 a 7月16日 常任理事1名が出席 a 2回開催 ・10月1日 事務局長、事務局担当者が出席 ・平成28年3月9日 事務局担当者が出席 a 平成28年1月28日 会長、常任理事1名が出席 ・8月31～9月1日 会長、常任理事1名、訪問看護総括理事、 ナースセンター担当が参加 ・11月8日 在宅ケア推進委員1名、訪問看護総括理事 訪問看護ステーション職員4名が参加 ・7月20～22日 助産師職能委員1名、事務局助産師3名が参加 ・10月8日 山形県で開催:会長が出席 ・9月4日 ナースセンター課長、ナースセンター担当者1名が参加 ・8月2日 助産師出向コーディネーター2名参加</p> <hr/> <p>管理運営会議・事務局 a 職業紹介責任者講習 8月28日(宮城)ナースセンター課長受講</p>
<p>3)広報活動に関する事業【重・7】 (1)県民、看護職及び会員への情報提供の充実 ①ホームページによる情報提供 ②広報誌「山形いぶき」の編集と発行</p>	<p>広報委員会、事務局(①～④は同じ) a 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の情報発信 ・随時更新 a 年4回発行(一回8,200部) b 配布先の拡大:マスコミ関係、公立図書館等への送付</p>

<p>③行政、関係団体と連携した広報活動</p> <p>④日本看護協会ニュースの活用</p>	<p>a 記者クラブへの投げ込み、ニュースリリースの発行</p> <p>b 健康長寿推進課による福祉関係施設への情報発信の協力依頼</p> <p>c 老人保健施設協会、老人福祉施設協議会との連携</p> <p>a 日本看護協会より毎月15日発行:理事会、委員会での活用</p> <p>b 日本看護協会へ発送名簿(会員住所等)や部数の変更手続き</p>
<p>4) 会館管理・運営に関する事業</p> <p>(1) 会館管理・運営に関する事項</p> <p>① 資金計画の円滑な運用</p> <p>② 会館管理の運営</p> <p>③ 機器類の管理</p>	<p>事務局(①～③は同じ)</p> <p>a 会館維持管理費の適正運用:光熱費、業務委託費、保守管理等</p> <p>b 長期資金計画に従い実施</p> <p>a 建物・駐車場の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物外壁飾りタイル剥がれについて検討中 <p>b 施設利用状況把握:利用者数19,082人(昨年度比△1,293人)</p> <p>c 使用規程に関する検討:変更・改正なし</p> <p>a 機器及び諸設備の整備・保守:講師用・研修用パソコンの入替</p> <p>b 機器類の貸出:希望に応じて対応</p>
<p>(2) 施設の整備・保守・管理</p> <p>① 施設の維持管理</p> <p>② 「訪問看護会館」の維持管理</p>	<p>総務課</p> <p>a 法定保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 電気設備:毎月実施 イ 火災報知機 :11月と平成28年3月に実施 ウ エレベーター:毎月実施 <p>b 任意保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 空調機:冷暖房切り替え時に実施 イ 自動ドア:必要時実施 ウ AV機器:4月9日に実施 <p>c 業務委託関係:委託契約により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 警備保障 イ 緑地帯の維持管理 ウ 館内外清掃 エ 駐車場除雪(12月から平成28年3月まで委託) オ 会計管理(消費税、法人税等の税務処理):顧問契約 <p>総括室、総務課</p> <p>a 具体的な計画を策定して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館内清掃は業者により定期的実施
<p>(3) 防災意識等の高揚</p> <p>① 山形県看護協会での防災訓練等</p>	<p>事務局</p> <p>a AEDを含む訓練:平成28年3月10日実施</p>
<p>(4) 関係団体との連携</p> <p>① アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携</p>	<p>事務局</p> <p>a アルカディアソフトパーク内の一斉清掃年2回、樹木の消毒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃は2回、消毒は年1回実施 <p>b 会議への出席</p> <p>c 親睦会は適時参加</p>
<p>5) 渉外活動に関する事業</p> <p>(1) 看護についての 諸問題の解決</p> <p>① 国・山形県等への陳情</p> <p>② 山形県看護連盟との連携</p> <p>(2) 関係機関との協力と連携</p> <p>① 関係機関・団体への参画</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局(①～②は同じ)</p> <p>a 政策、要望・課題等を業務推進懇談会で提起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護関係予算、看護教育、継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等) <p>b 基金活用についての打合せ会に出席</p> <p>a 担当者間での合同会議を実施</p> <p>b 合同研修会の企画と運営・評価 2回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月9日(土)参加者:228人 ・平成28年3月5日(土)参加者:173人 <p>理事会・管理運営会議・事務局(①～②は同じ)</p> <p>a 関係機関・団体等との連携、参加、名義後援</p> <p>b 山形県健康福祉部長との業務推進懇談会(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月4日開催:出席者31名 <p>c 山形県四師会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全、禁煙対策、災害対策等で会議を開催 <p>d 諸会議への参加</p> <p>e 諸施策審議会への参加</p> <p>※d・eは総会要綱「平成27年度他機関への委員等の派遣」参照</p>
<p>6) 会員の相互扶助に関する事項</p> <p>(1) 会員の福利厚生への推進</p> <p>① 会員の福利厚生へのPR</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局</p> <p>a 表彰候補者の推薦並びに表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 日本看護協会会長表彰候補者推薦のための調査と推薦 阿部 恵子(前鶴岡市立荘内病院看護部長) 井上 栄子(日本看護協会地区理事・本協会会長)

イ 山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦
平成27年度看護功労者表彰1名、感謝状81名に贈呈
ウ 名誉会員に1名推薦したが、死亡のため推薦取り下げ
b 規定による会員への見舞い
ア 慶弔見舞 弔意:現会員1名、旧会員 3名